

理事長所信（案）

伊藤 肇

はじめに

東金青年会議所は、創立から52年間まちづくりを通じて自己研鑽を積み重ねています。感受性も高く多くの物事を取り入れやすい青年期において、自己研鑽をし続けることは必ず自らの人生を発展させてくれるでしょう。本年は、コロナ禍によるニューノーマル時代を迎える中で、新たな価値観が生まれてくると考えます。私たちは、自らの可能性を高め、未来を描き確実な一歩を踏み出さなくてはなりません。主体的な取り組みは、活動を魅力的にして成長の質を高めます。多くのメンバーと自己成長を成し遂げた先に地域の道が切り拓けると信じています。

主体的な活動を地域へ

新たな価値や思考を見出ししていくには、組織の理念・理想を理解し共有することです。組織が同じ価値観を有した時、強く魅力的になります。主体的に楽しいと思えた行動には、必ずや多くの人が惹きつけられます。メンバー一人ひとりが主役となり輝ける場を提供していきます。

新たな価値の創造を

この数年でデジタル化社会に拍車がかかり仮想空間で議論や活動を行うことに前向きになったのではないのでしょうか。時代が変わる時には、新たな価値が生まれ、活動の形も変わりゆくものです。このような時代だからこそ、未来を描きこれからの地域に対して柔軟に対応しながら変化し続けられる人財にならないといけません。

未来を担う子ども達へ

これからの未来を担うのは子ども達です。子ども達の健全な成長は地域に住む大人の役割ではないのでしょうか。一番我慢を強いられ、人との接触を避けコミュニケーションを取りづらい環境になっているのは確かです。地域の子ども達へ相手を思いやる気持ち、家族への感謝、地域・多世代とのコミュニケーションを高める事業を展開します。多くの方々から支えられていることを実感し、広い視野を持って成長することが何よりも大切であると考えています。

組織改革の波を

組織改革という言葉は、近年急速に普及しているのではないのでしょうか。流行や技術革新が加速する中で、若い世代の声をより多く取り入れ時代に取り残されない思考が必要です。また、運営においてはデジタル化を図り効率的な運営を心掛け、与えられた大切な時間を組織に費やすのではなく、本来の目的に対して有効的に活用することが組織改革の重要な取り組みです。

選挙に対する市民意識向上

本年は2市に於いて市長選挙が行われます。行政の方向性を多くの市民と考え、政策本位による政治選択を浸透させなくてはなりません。従来型の手法にこだわらず市民の方々が、求める新たなサービスを提供致します。政治に対する意識の向上が図られれば、市民の求める行政サービスが高まり、住み続けたい地域へと変わると信じています。

情報の集積と発信

2020年度より「さんぶまっちあっぷ」を運用しております。デジタル情報化社会では、個人が情報を発信することが簡易になる一方、情報が溢れ入手する手間が増えてしまっています。デジタル上のコミュニケーションとして地域を繋げる「さんぶまっちあっぷ」をより広げ、市民に伝えられるツールにしなくてはなりません。多くの方に必要とされるものは、魅力となり価値を収益と変えてくれるでしょう。また、事業化に向けた取り組みも展開していきます。

道をひらく

どのような時代においても、繁栄と衰退は紙一重の選択です。繁栄をもたらすには、そこにいるヒトの力が必要です。青年会議所では、判断が難しいこともメンバー同士で考え正しいと思える答えを導いてくれます。多くのメンバーで導き出した答えは自信となり力と変わります。それこそ繁栄をもたらす一番の近道と考えます。この一年を通じて、地域の同世代のメンバーと共に自己成長を果たし、自らの意識を高めます。その先には、必ず広く高い視野でこれからの歩むべき道が切り拓いてくれると確信しています。そして自らの意思で歩む一歩は、自らの成長、会社の発展、地域の繁栄へとつながる道となるのです。

歩んでいかななくてはならない道を、多くのメンバーで歩んでいきたい

多くのメンバーで正しいと思える道を見出して歩んでいきたい

苦難であるときも、明るく前を向き楽しい活動をしたい

どんな状況でも、仲間を信じて歩んでいきたい

その先に必ず、明るい豊かな社会があると信じて